

特別調査『消費税に関する調査結果』

政府は15年10月の消費税率10%への引上げを17年4月に先送りいたしました。本調査は政府判断の出る前に実施した調査結果であります。会員が15年10月の引上げをどのように考えていたのか。また、2020年、2030年の消費税率の水準をどのように考えているのかをまとめさせていただきました。

調査項目－1

「15年10月の10%への消費増税についてどのようにお考えですか」

【調査結果集計表】（単位：％）

回 答 項 目	全 社	製 造 業	非製造業
①景気並びに企業経営への影響が大きく延期すべき	45	41	49
②膨大な財政赤字に加え今後の社会保障負担増等を踏まえると予定通り実施すべき。	33	36	30
③どちらともいえない。	22	23	21

○15年10月の10%への消費増税については、「延期すべき」との回答が全社ベースで45%となっている。また、「延期すべき」との回答は非製造業が多くなっている。

調査項目－2

現在、日本は少子高齢化が急速に進行、既に人口減少に転じております。こうした状況から今後社会保障給付費の急増が見込まれています。一方、日本の財政状況は現在主要国最悪の状況となっております。こうした状況を踏まえると、2020年、2030年の消費税率はどの程度が必要とお考えでしょうか？

【調査結果集計表】

消費税率	2020年			2030年		
	全 社	製 造 業	非製造業	全 社	製 造 業	非製造業
8%	7	9	6	1	1	1
10%	47	41	52	20	20	20
15%	21	29	16	28	27	29
20%	5	7	2	20	23	17
わからない	20	14	24	31	29	33

○2020年の消費税率水準は「10%」という回答が47%と半数近くに達し、「15%」「わからない」という回答が20%程度となっている。
○2030年の消費税率水準は「わからない」という回答が31%となっており、「15%」という回答も28%とほぼ同じ比率となっている。